

CO₂排出量削減を目指しカーボンニュートラルな都市ガスを導入 ～刈谷工場におけるカーボンニュートラルの先行実現に向けて～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、2021年10月1日より、東邦ガス株式会社（代表取締役社長：増田信之）が提供する、「カーボンニュートラルな都市ガス」[※]を導入します。

具体的には、ステンレス形鋼等の製造を行っている刈谷工場（愛知県刈谷市）にて使用を開始し、同工場で使用する既存の都市ガスからの全量切り替えにより、年間約8千トンのCO₂削減（同工場における全CO₂発生量の約70%に相当）に貢献します。

当社は、2050年カーボンニュートラルの早期実現に向け、刈谷工場を先行でカーボンニュートラル実現への取り組みを加速しています。

今後も使用エネルギーの徹底的な削減や革新的な技術開発、自動車業界に貢献できるエコ製品開発、再生可能エネルギーの利用拡大等を積極的に推進し、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※ 天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生するCO₂を、森林保全プロジェクト等を通じて削減・吸収し相殺（カーボンオフセット）したLNG（液化天然ガス）で製造した都市ガス

以上